

昭和町常永地区の大規模商業施設の規模縮小による 甲府市中心商店街への影響について

平成19年11月27日
山梨県商工労働部

問い合わせ先
山梨県商工労働部 商業振興金融課
TEL 055(223)1535 (直通) FAX 055-223-1534

規模縮小前の甲府市中心商店街への影響

- ・規模縮小前の大規模商業施設（昭和町大型SC）の店舗面積は4.8万㎡で、甲府市中心商店街は、その「主たる商圈」に含まれることが見込まれた。

旧大店法の審査要領では、店舗面積3万㎡以上の店舗の「主たる商圈」を10kmと規定。
甲府市中心商店街から昭和町大型SCまでの距離は、6.5km

- ・甲府市中心商店街全体で6.5%（33億円）程度の売上高の減少が見込まれた。

旧通商産業省が導入した「修正ハフモデル」により推計。修正ハフモデルの基本的な考え方は、「ある地区に対する吸引力は、地区と商業施設間の距離に反比例し、商業施設の規模に比例する」というもの

- ・全国の小売業（中小企業）の損益分岐点比率（94.1%）からみて、小売業者が耐えられる売上高減少率は6%程度までと考えられるが、昭和町大型SCの立地だけで、これを上回る影響が見込まれた。

規模縮小後の甲府市中心商店街への影響

- ・規模縮小後の昭和町大型SCの店舗面積は2.8万㎡となり、「主たる商圈」が狭まることから、甲府市中心商店街は、その「主たる商圈」の外側となることが見込まれる。

旧大店法の審査要領では、店舗面積1.5万㎡以上3万㎡未満の店舗の「主たる商圈」を5kmと規定。

- ・甲府市中心商店街全体の売上高の減少率は、3.8%（19.2億円）程度まで縮小することが見込まれる。

甲府市中心商店街の売上高減少率及び減少額

	規模縮小前	規模縮小後
店舗面積（万㎡）	4.8	2.8
減少率（％）	6.5	3.8
減少額（億円）	33.0	19.2

甲府市中心商店街の小売業の年間売上高は506億円（平成16年商業統計調査結果）

大規模商業施設の「主たる商圈」

